

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	after-school programるくーる		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 20日		2026年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 2月 20日		2026年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちひとりひとりの困りごとについて職員全員が支援方法について検討し、日々の療育に反映できている。	プログラム内でそれぞれが課題となっている部分を盛り込めるように日々工夫している。	年齢差、スキルの差などで「簡単すぎる」「難しい」などの不満が出ないように難易度を変化させたり、グループ分けによって協力する機会を設けている。
2	心地よく過ごせるスペースを確保し、適切な人数を確保している。	日々の清掃にアルコール消毒を用いており、また定期的におもちゃの清掃もアルコール消毒を実施している。 職員は専門的知識を持った人員を十分に配置できている。	支援グッズが増えておりスペースに限界がある。 子どもたちが使いやすい、取り出しやす環境づくりを目指している。
3	定期的にInstagramで、活動内容の報告を実施している。	児童の顔がわからないように修正はしているが、楽しんで取り組めている様子をご家族様に伝えられるように配慮している。	現在一人の担当者が行っているが、複数名が担当することでさらなる更新回数を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流。	放課後児童クラブや児童館との交流が取れていないが、他事業所との合同イベントに参加するよう心がけている。	まずは提携幼稚園との合同あそびなどを企画していきたい。
2	保護者会、父母会の活動開催が未実施である。	共働きの両親も多く、さらなる職員負担となるため実施に至らず。	職員の増員、保護者会と親子利用という形を現在模索中。
3	職員の他事業所見学。	見学先は幾つか候補は上がっているが、日々の業務を優先させているため現在未実施。	職員増員が見込まれるため、実施できるよう検討中。